

“何より大事なことは、人生を楽しむこと。幸せを感じることに、それだけで”というオーダー・ヘアパーンの言葉をキャッチフレーズに、「人生を楽しむこと、幸せを感じることを、ジュエリーを通して提案した「春のベルエクラジュエリーフェア」(主催: 榎柏圭)が、4月17日・18日、横浜ベイホテル東急で開催され、昨年を上回る来場者で賑わいを見せた。

今回で3年目を迎えたコロナ禍での展示会は、密対策など感染対策も徹



底され、WITHコロナの中での楽しみ方を確立しつつあり、来場する顧客の購買意欲は高く、高額商品が動く傾向が見られた。

会場では、カンケイが30年近くの歳月をかけて展開する、希少なコンクパールジュエリーが一堂に会した特別企画「コンクパールの世界」を開催。コンクパールをイメージしたピンクグラデーションカラーの花で彩られたフォ

トスポットから会場奥の展示コーナーへと目が行き交った。

また、「カシケイ ブラウンダイヤモンド」コーナーでは、ブラウンダイヤモンドの濃淡の美しさを最大限に生かした「メランジュ」シリーズをフィーチャー。さらに「KODERA TOMOKO」のコーナーでは、照明ライト付きミラーを用意し、顧客が非日常感を味わえる接客でKODERAならではの魅力あるジュエリーを楽しんだ。

担当者は「このような活気あるフェアにすることができたのも、お取引先のご尽力の賜物と心より感謝いたします。今後も、柏圭の商品力・販売力、企画力を駆使し、魅力ある総合ジュエリーフェアを提案していく」とのコメントを寄せている。



したコーナー展開で、改めてカシケイだ

連載コラム 「石部イズム〜御徒町編〜」 (株)G・T・B・T 代表取締役社長 石部高史

第12回「決断力とリーダーシップ」

新型コロナウイルスの感染者数は未だに毎日5千人程度あるものの、東京の街の様子はコロナウイルスの流行前と変わらなくなってきました。

しかし御徒町に賑わいはなく閑散としています。ここ最近の1カ月を見ても円安のことや金価格の上昇とダイヤモンド価格の高騰が続き、依然としてこの業界の環境は変化し続けていることは確かです。

今こそ経営者の手腕の見せ所です。今までの経験と勘とそして度胸が試される時期にきているのです。時代が常に変化する中、誰が見てもコロナウイルス感染が流行し始めてから世の中が変わったことに気づいているのだから、商売の仕方も以前とは変化させなければ、当然のように時代から遅れていくことになります。

私も振り返って考えてみると、今から20年前に時計のブランド数を35ブランドから7ブランドに減少させた経験があります。その時は周りから時計販売を辞めるとか言われましたが、今となれば正解であったと感じています。私は時計の博物館を作りたい訳ではなく、多くのブランドを取り扱う大型家電量販店にしたい訳でもないので。仮に多くのブランドを取り扱ったとしても、そこまでの時計の需要は見込めない為、在庫の金額だけが増え資金繰りが大変になり、他のビジネスにまで影響してしまうことではないでしょうか。

今も振り返って考えてみると、今から20年前に時計のブランド数を35ブランドから7ブランドに減少させた経験があります。その時は周りから時計販売を辞めるとか言われましたが、今となれば正解であったと感じています。私は時計の博物館を作りたい訳ではなく、多くのブランドを取り扱う大型家電量販店にしたい訳でもないので。仮に多くのブランドを取り扱ったとしても、そこまでの時計の需要は見込めない為、在庫の金額だけが増え資金繰りが大変になり、他のビジネスにまで影響してしまうことではないでしょうか。

今も振り返って考えてみると、今から20年前に時計のブランド数を35ブランドから7ブランドに減少させた経験があります。その時は周りから時計販売を辞めるとか言われましたが、今となれば正解であったと感じています。私は時計の博物館を作りたい訳ではなく、多くのブランドを取り扱う大型家電量販店にしたい訳でもないので。仮に多くのブランドを取り扱ったとしても、そこまでの時計の需要は見込めない為、在庫の金額だけが増え資金繰りが大変になり、他のビジネスにまで影響してしまうことではないでしょうか。

今も振り返って考えてみると、今から20年前に時計のブランド数を35ブランドから7ブランドに減少させた経験があります。その時は周りから時計販売を辞めるとか言われましたが、今となれば正解であったと感じています。私は時計の博物館を作りたい訳ではなく、多くのブランドを取り扱う大型家電量販店にしたい訳でもないので。仮に多くのブランドを取り扱ったとしても、そこまでの時計の需要は見込めない為、在庫の金額だけが増え資金繰りが大変になり、他のビジネスにまで影響してしまうことではないでしょうか。

今も振り返って考えてみると、今から20年前に時計のブランド数を35ブランドから7ブランドに減少させた経験があります。その時は周りから時計販売を辞めるとか言われましたが、今となれば正解であったと感じています。私は時計の博物館を作りたい訳ではなく、多くのブランドを取り扱う大型家電量販店にしたい訳でもないので。仮に多くのブランドを取り扱ったとしても、そこまでの時計の需要は見込めない為、在庫の金額だけが増え資金繰りが大変になり、他のビジネスにまで影響してしまうことではないでしょうか。

今も振り返って考えてみると、今から20年前に時計のブランド数を35ブランドから7ブランドに減少させた経験があります。その時は周りから時計販売を辞めるとか言われましたが、今となれば正解であったと感じています。私は時計の博物館を作りたい訳ではなく、多くのブランドを取り扱う大型家電量販店にしたい訳でもないので。仮に多くのブランドを取り扱ったとしても、そこまでの時計の需要は見込めない為、在庫の金額だけが増え資金繰りが大変になり、他のビジネスにまで影響してしまうことではないでしょうか。

商談テーブル全て埋まる賑わいで目標を上回る集客と売上高を記録

榎丸善主催による春の「華いちごジュエリーフェスティバル」が、4月9〜11日、なんばスカイオで開催され、「お祭り騒ぎのいちごらしさを取り戻し、



目標を大きく上回る売上高で、節目となる20回目に華を添えた。

井本雅仁社長は「最高のタイミングで開催できたことに感謝しています。マンボウ解除後の売上は好調を取り戻しつつあり、いちごにおいても「リベンジ消費」を体感できました。世界的には生活必需品をはじめ値上げのタイミングとなっていますが、今回のいちごではそこを逆に価格を据え置き、「アップ前のお値打ち価格」をコンセプトにメーカー様とともに商品準備を進めてきました。初日から商談テーブルが全て埋まるほどの集客に成功し、大変な賑わいとなりました。さらに商品単価の

華いちご 高さも維持でき、買上率も前回は上回りました。複雑な環境の中で、熱心に集客いただいた小売店、価格据え置き商品に協力いただいたメーカーには大変感謝しています。3日間とも素晴らしい空気感と情熱あふれる接客の熱気が伝わってきました」と感想を述べ、今以上に魅力のある「いちご」を創り上げるべく、今後も皆様のために精一杯取り組むとしている。

会場では色石を中心としたオリジナルブランドをはじめ、ブランドジュエリー、デザイナーズジュエリーに新規ブランドも2点ほど入っていた。また、さらなる高騰が見込まれるダイヤモンドにも注目が集まり、いつも以上にラフダイヤモンドを並べ、需要に添っていた。

次回、秋のいちごは10月22日〜24日に同場所で開催予定。

桜と海棠の咲く、鎌倉の特別な空間で菅沼氏たちがジュエリー展



鎌倉に生まれ、これまで全国の百貨店をはじめ銀座和光や、各地ギャラリーにて展示会に出展する活動をしてきたジュエリーデザイナーの菅沼知行氏が、地元の鎌倉にある長谷川邸(はせべつてい)にて、ジュエリー展を開催した。

長谷川邸の隣にある長谷幼稚園に通っていた菅沼氏は、鎌倉二階堂にジュエリーのアトリエを構え40年が経っており、「ここでジュエリー展を開催することは、夢のようです。地元のご縁

によって長谷別邸をお借りすることができました。お力添えを頂いた皆さまに感謝申し上げます」とコメントしている。

また、「ジュエリーデザイナーの仕事は大げさな言葉で、世界中に一人だけいるお客様と出会う旅です。私たちデザイナーの個性を問われる時代が来ています。宝石を使ったジュエリーが自分の進む道であると納得する瞬間は、宝石との出会いです。スイスのパーゼルや南ドイツのイーダーオーパーシュタインという山間の素敵な町に出かけて石探しをしますが、ブラジル・ドイツ・オーストラリア・スリランカなど世界中の石屋さんが、この鎌倉までやってきてくれます。石を見ている時が一番幸せです。その石をいかに素直にジュエリーにするか、そして身に付けて生きるジュエリーを作り続けようと思います」と話してくれた。

菅沼氏は今回も、全て一点一点丁寧に高度な技術を持つ職人が作っているオリジナルジュエリーばかりを厳選して紹介していたが、「atsuyo bijoux」にて香港フェアをはじめ数々の展示会に出展している長谷川代氏(ハセガワJスタジオ主宰)と、「PSALM」ブランドで全国の百貨店に出展している西尾輝子(リリプット)代表)の3人で特別な空間を演出した。

CT スキャン使用 天女、花珠、鑑別書

日本真珠学術協会

〒110-0005 東京都台東区上野5-22-1 井上ビル4F TEL:03-3836-2507 FAX:03-3836-2689

BIJOUPIKOグループのBell tree 富山県内初のショップをオープン

BIJOUPIKOグループのBell tree (榎(愛知県名古屋、石部雅彦社長)は、4月18日、富山県内初となる「ビジュピコ 富山店」を富山市にオープン

■研磨職人の技からイメージ膨らませ デザインされたジュエリーの制作過程

ジュエリー制作には、多くの専門技術を持つ人たちが関わる。職人はデザイナーとイメージを共有し、デザイン画を忠実に再現しつつも描かれていない部分を読み取り仕立てていく。ジュエリーそのものに完成された世界があり、その小さくも豊かな世界をより一層楽しむためにも、その制作過程を知りたい。山梨ジュエリーミュージアムの企画展では、同館の

「TOMOE」「PORTADA」など、富山県初上陸ブランドを含む、約30ブランドのプライダグリングを一度に見比べられるほか、店内はステンドグラスのようなカラフルな装飾が特徴的

館蔵品とともに、ジュエリーのデザイン画や製作途中の経過を紹介。研磨職人のオリジナルカットからイメージをふくらませてデザインされたジュエリー、原石のセレクトや研磨、手作りの貴金属パーツなど、山梨の宝飾技術が詰まったジュエリーを6月20日まで展示中。入館無料。

■カルティエがカンパレンスを配信

カルティエ ジャパンが、日本社会における女性エンパワメントを支援し、支え合うコミュニティづくりを目指した「Cart-

ier Women's Conference」を4月19日東京で開催。その内容をELLE JapanのYouTubeチャンネルでライブ配信。ジェンダー平等の課題などを議論した。



「自分らしさ」指輪づくりを通して伝える

SORAがワークショップで生み出す喜びを未来に伝える

写真は2019年度の実施風景

オーダーメイド プライダグジュエリー専門店SORAが、4月22日〜24日に代々木公園で行われた「東京レインボープライド2022」に出展。指輪づくりを通して自分自身と繋がることを目的としたワークショップを実施した。

SORAは「生み出す喜びを未来に伝える」をスローガンとし、創業時からものづくりを通じて人や自然との繋がり、幸福とは何かを

考え可視化してきた。2017年からはLGBTQアライアンス企業として、毎年東京レインボープライドに出展し「自分らしさ」をテーマにしたものづくりワークショップを開催している。

今年は「繋がる、見える、変わる」という東京レインボープライド2022のイベントテーマのもと、SORAではオリジナルのワークシートを用いて自分らしさを表現する色を導き出し、その場で発色させる、指輪づくりのワークショップを開催。自分自身と向き合い自分と繋がることで見えてくる、大切な想いを指輪の色で表現し、参加者の未来を変えるエネルギーを生み出した。

また展示ブースでは、自分の人生の指針を込めた指輪をつくるプロジェクト「LINK OF LIFE」にて制作したドラッグクイーンのアリアン・ロドリゲス(Duria) Lolobrigidaさんの指輪と、その指輪の制作過程を収めた写真家ヨシダナギさんの撮影による写真展示も行った。

「アイデアル」 「アイデアルカット」 「アイデアルカットダイヤモンド」 は、株式会社APの登録商標です

IDEAL

BEDAT & C^o GENEVE

ビジュピコ BIJOUPIKO

日本総代理店：株式会社G・T・B・T 本多事業部 TEL 03-5846-8592